

2026年5月8日

各位

会社名 ア ス ク ル 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 吉岡 晃  
(コード番号:2678 東証プライム)  
問合せ先  
役職・氏名 取締役 CFO 玉井 継 尋  
TEL 03-4330-5130

### その他の関係会社の決算に関するお知らせ

本日、当社のその他の関係会社である LINE ヤフー株式会社（本店所在地：東京都千代田区紀尾井町 1-3、代表者：代表取締役社長 CEO 出澤 剛）より、2025 年度通期及び第 4 四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料が発表されましたが、その資料に当社に関する記載がありましたので、該当ページに関し別添のとおりお知らせいたします。

添付資料中、当社の業績に関する記載がございますが、以下のとおり LINE ヤフー株式会社と当社の各連結会計期間は異なり、また、両社の会計基準等の違い※により当社が公表する決算数値とは合致いたしません。

※当社は日本基準、LINE ヤフー株式会社は IFRS を会計基準に適用

連結会計期間	LINE ヤフー株式会社	当社
通期	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	2025 年 5 月 21 日 ～2026 年 5 月 20 日
	・添付資料中 1 ページ目および 2 ページ目に記載の調整後 EBITDA ・添付資料中 2 ページ目に記載のアスクル連結売上高 ・添付資料中 3 ページ目および 6 ページ目に記載のアスクル BtoB 事業（インターネット経由）の売上高 ・添付資料中 4 ページ目に記載のアスクル連結営業利益	
第 4 四半期	2026 年 1 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	2026 年 2 月 21 日 ～2026 年 5 月 20 日
	・添付資料中 7 ページ目に記載のアスクル連結四半期売上高	

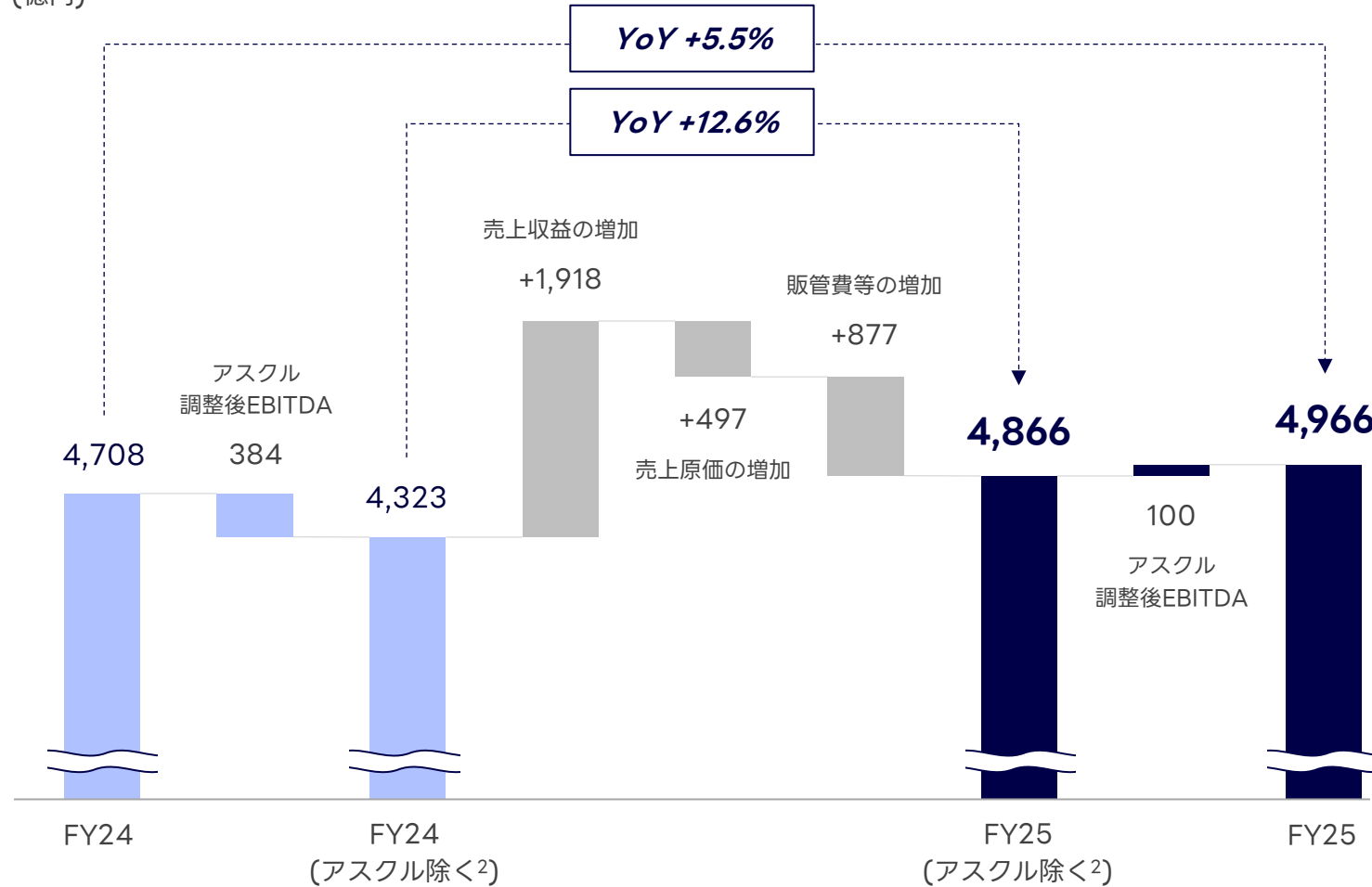
別添 LINE ヤフー株式会社 2025 年度通期および第 4 四半期 決算説明会プレゼンテーション資料(抜粋)

(注)2025 年 11 月 20 日時点で LINE ヤフー株式会社は当社発行済株式総数の 46.76%を所有しております。

以上

調整後EBITDA<sup>1</sup>増減分析

(億円)



売上収益: +1,918億円

(アスクル除く<sup>2</sup>)

- メディア: +30億円
  - 検索広告: -207億円
  - アカウント広告: +193億円
  - ディスプレイ広告: +35億円
- コマース: +820億円
  - LINEヤフー: +685億円
  - ZOZO: +147億円
- 戦略: +1,045億円
  - PayPay連結: +776億円
  - LINE Bank Taiwan: +158億円

売上原価: +497億円

- メディア: -22億円
- コマース: +382億円
  - BEENOS: +71億円
  - その他: +310億円
- 戦略: +160億円
  - LINE Bank Taiwan: +78億円
  - PayPay連結: +53億円

販管費等: +877億円

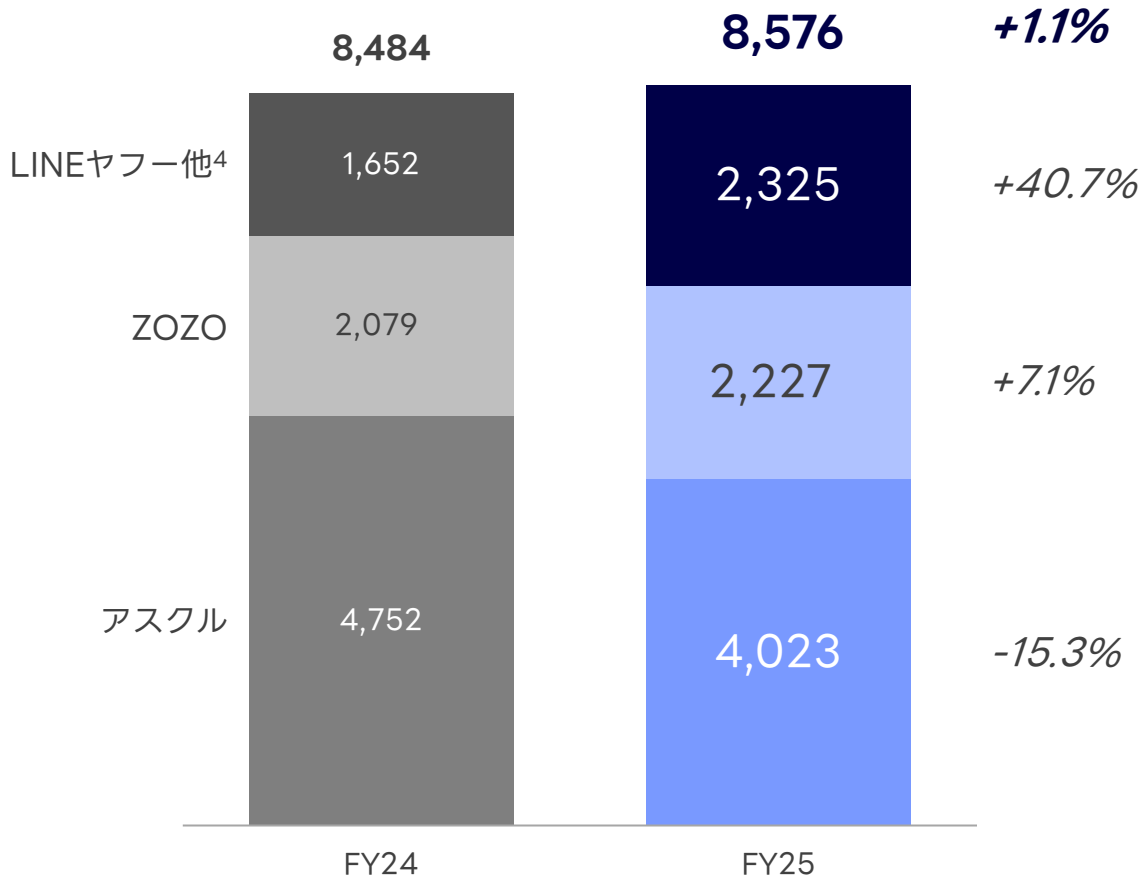
- LINEヤフー
  - コマース: +279億円
  - メディア: +134億円
- PayPay連結: +303億円
- LINE Bank Taiwan: +80億円
- ZOZO: +75億円

1. 調整後EBITDA: 営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± EBITDA調整項目。減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費、一部の賃借料。EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益

2. FY24、FY25の実績値からアスクル除いたベース

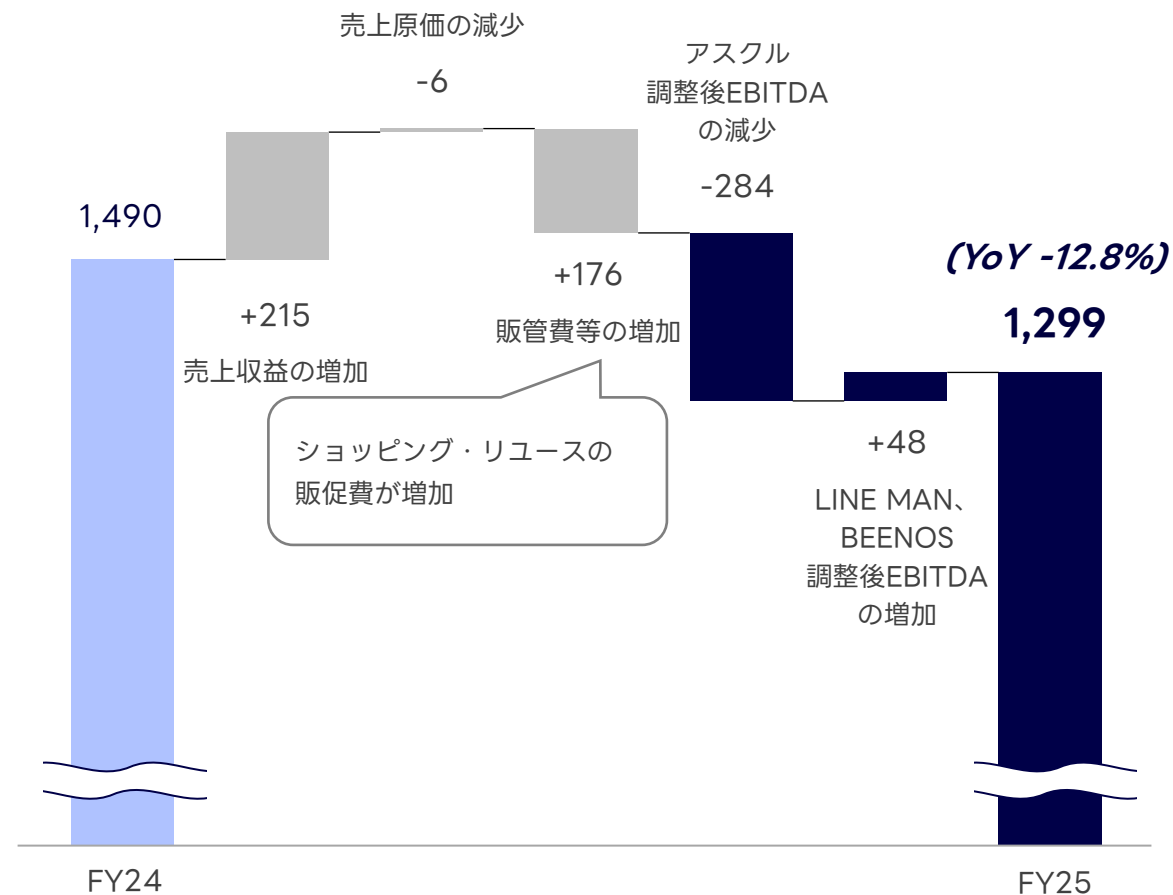
売上収益<sup>1,2,3</sup>

(億円)



調整後EBITDA<sup>1,2,3</sup>

(億円)

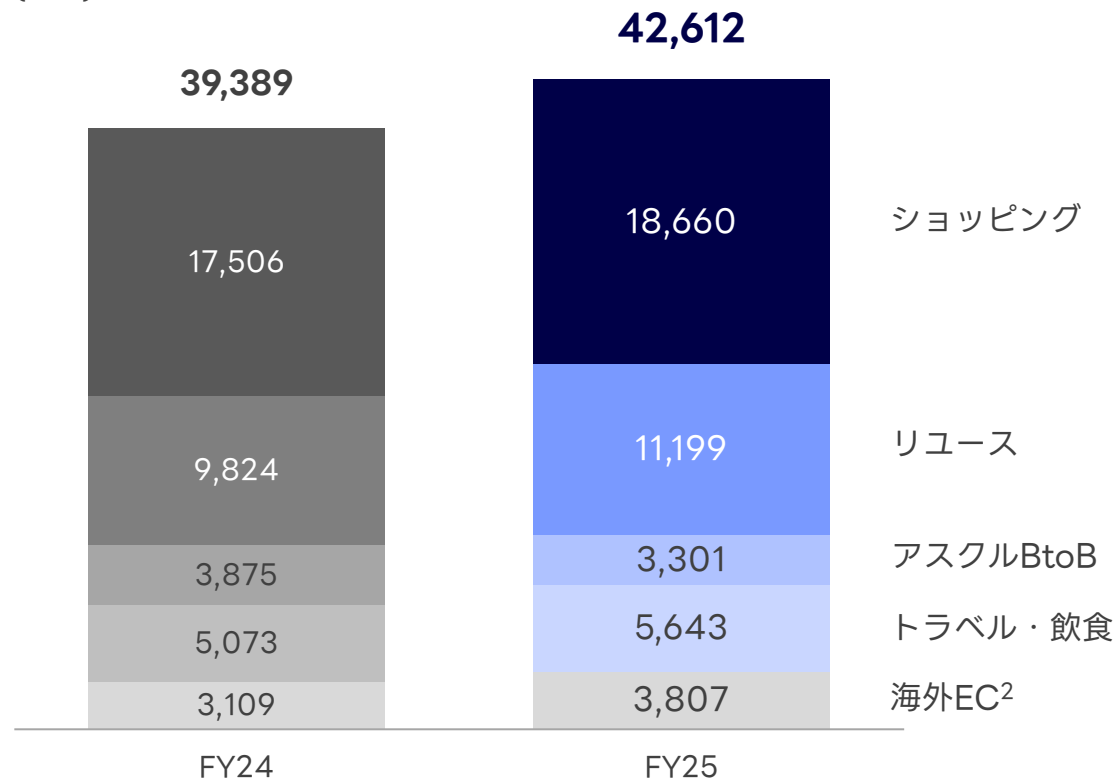


1. FY24Q3に、メディア事業に区分されていた一休.comレストラン、およびPayPayグルメのサービスをコマース事業に移管。これに伴いFY23、FY24Q1、Q2の業績を遡及修正
2. FY25Q1に、テクノロジー部門の人件費、データセンターおよび社内インフラに関わる費用の配賦基準を変更。これに伴い、FY24業績を遡及修正
3. FY25Q3に、組織再編に伴いサービスをセグメント間で移管。これに伴いFY24、FY25Q1、Q2の業績を遡及修正
4. LINE MAN、BEENOS含む

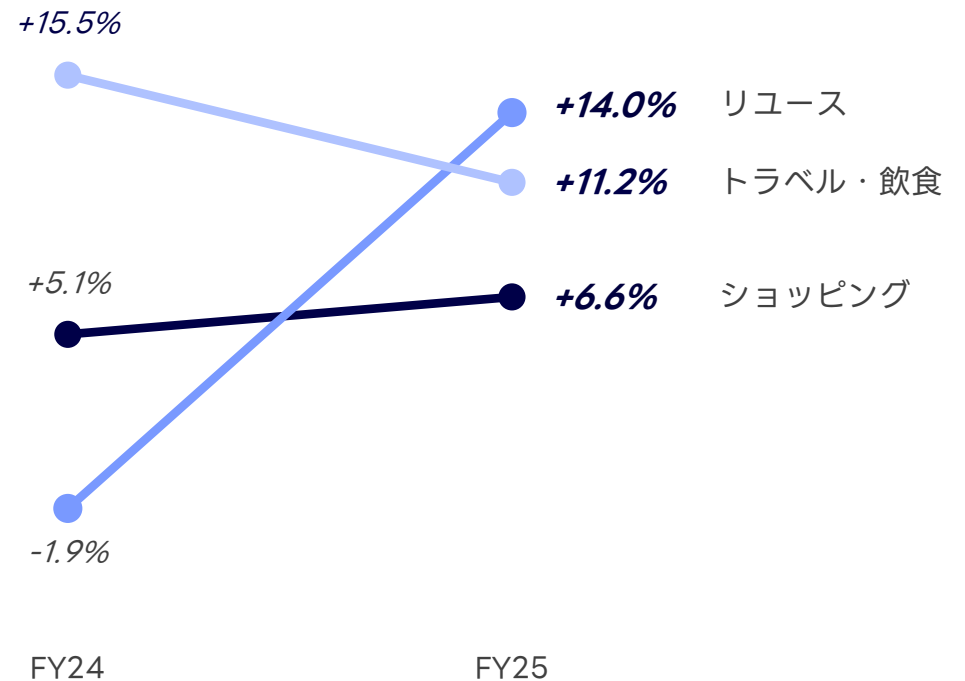
# リユースとトラベルの成長により、取扱高は堅調に拡大

eコマース取扱高<sup>1</sup>

(億円)



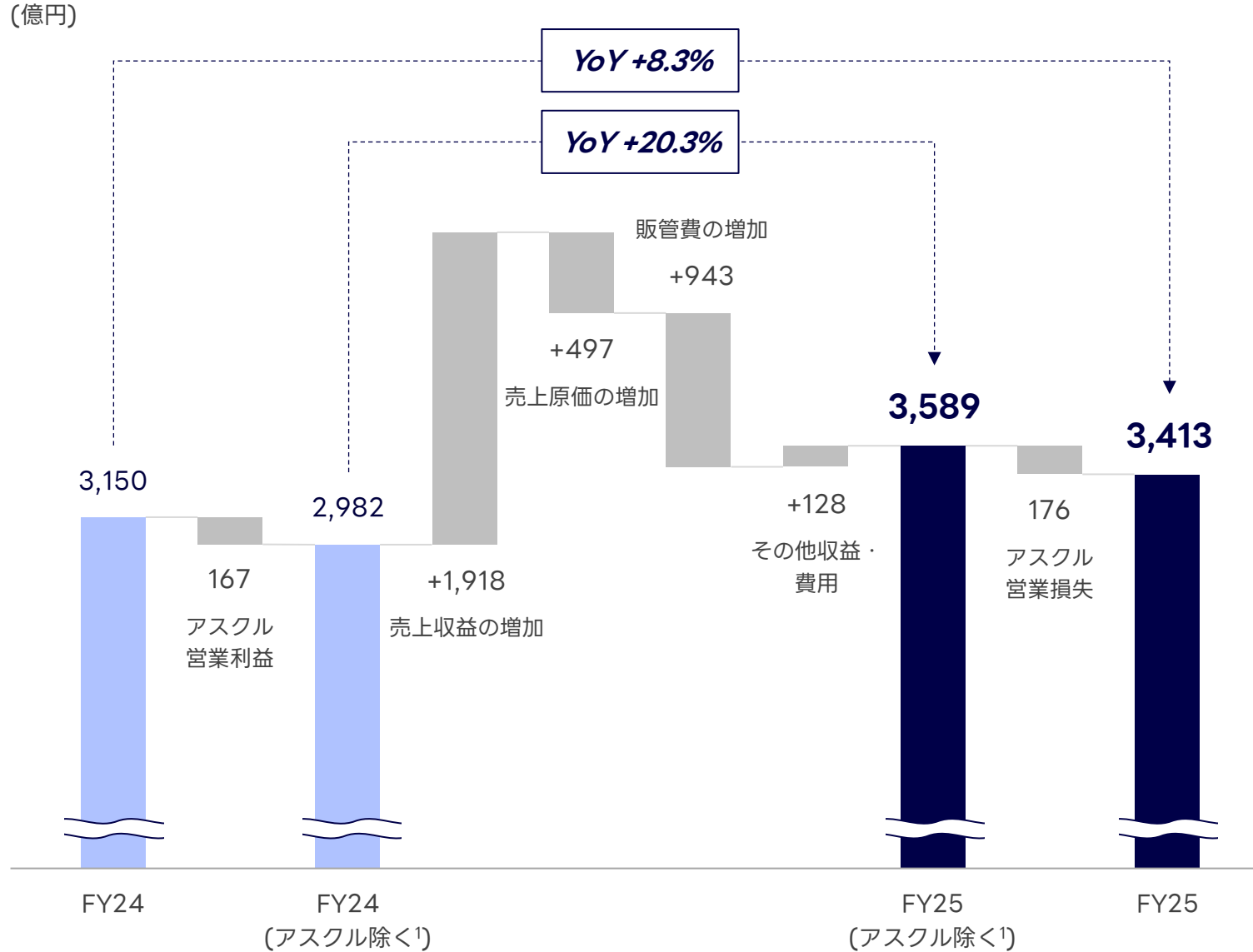
eコマース取扱高 成長率 (YoY)<sup>1</sup>



1. 取扱高の定義は補足資料P28参照。出前館、国内デジタル系サービス、海外デジタル系サービスを除く

2. デジタル系サービスを除く

# 営業利益の増減分析



(億円)

	FY24	FY25	YoY
売上収益	14,421	16,340	+1,918
売上原価	1,701	2,199	+497
販売費及び一般管理費	10,167	11,110	+943
その他収益・費用	430	559	+128
<b>営業利益 (アスクル除く<sup>1</sup>)</b>	<b>2,982</b>	<b>3,589</b>	<b>+606</b>
アスクル 営業利益	167	-176	-343
<b>営業利益</b>	<b>3,150</b>	<b>3,413</b>	<b>+262</b>

1. FY24、FY25の実績値からアスクルを除いたベース

## 投資資産の公正市場価値<sup>1</sup>

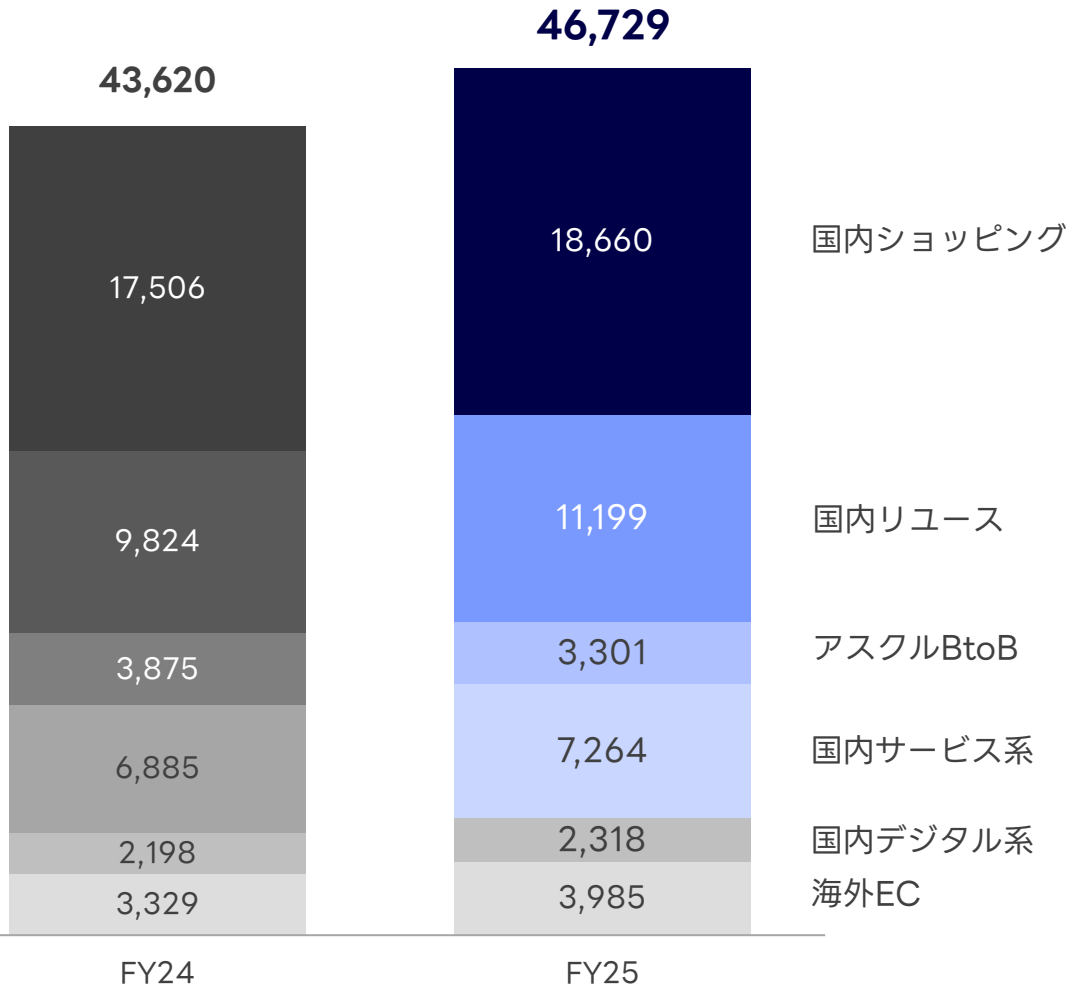
(億円)

会社名	公正市場価値	持分比率
PayPay	7,126	31.0%
ZOZO	5,114	51.8%
アスクル	468	46.9%
クラシル	218	54.5%
出前館	54	37.2%
Webtoon Entertainment	454	23.3%
LINE Pay Taiwan	604	58.1%
合計	14,040	-

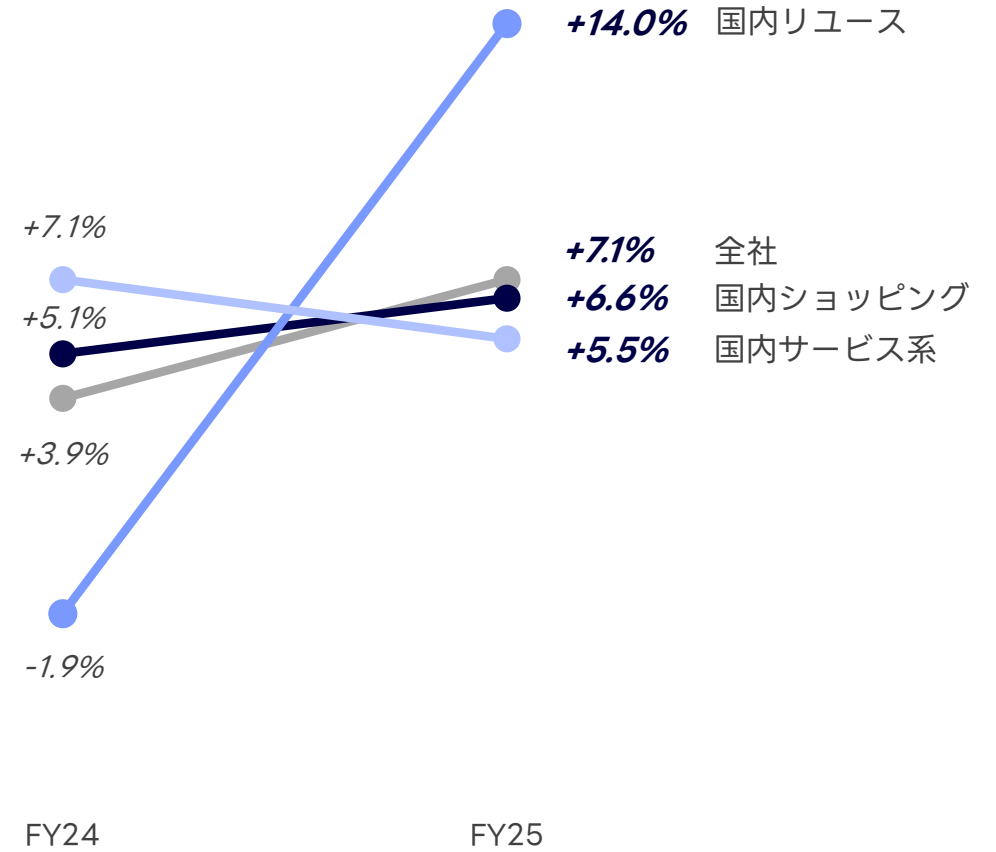
# 全社 eコマース取扱高

全社 eコマース取扱高<sup>1</sup>

(億円)



全社 eコマース取扱高 成長率 (YoY)<sup>1</sup>



1. 取扱高の定義は補足資料P28参照

業績概況 (P/L)

(百万円)

	FY2024 Q4 <sup>1,2</sup>	FY2025 Q4 <sup>1,2</sup>	YoY
<b>売上収益</b>	<b>212,138</b>	<b>230,355</b>	<b>+8.6%</b>
<b>LINEヤフー</b>	<b>40,970</b>	<b>72,023</b>	<b>+75.8%</b>
ショッピング事業	19,689	21,208	+7.7%
リユース事業	10,747	17,083	+59.0%
サービスEC事業	10,068	33,376	+231.5%
その他	465	355	-23.7%
<b>ZOZO、アスクル</b>	<b>171,168</b>	<b>158,332</b>	<b>-7.5%</b>
<b>売上原価</b>	<b>95,321</b>	<b>106,402</b>	<b>+11.6%</b>
<b>売上総利益</b>	<b>116,816</b>	<b>123,952</b>	<b>+6.1%</b>
<b>販管費</b>	<b>103,955</b>	<b>120,341</b>	<b>+15.8%</b>
販売促進費・広告宣伝費	23,734	28,634	+20.6%
その他販管費	80,220	91,706	+14.3%
<b>その他収益及び費用</b>	<b>-</b>	<b>-228</b>	<b>N/A</b>
<b>営業利益/営業利益率</b>	<b>12,861 (6.1%)</b>	<b>3,383 (1.5%)</b>	<b>-73.7%</b>
<b>減価償却費及び、EBITDA調整項目</b>	<b>17,601</b>	<b>25,493</b>	<b>+44.8%</b>
<b>調整後EBITDA/マージン</b>	<b>30,463 (14.4%)</b>	<b>28,877 (12.5%)</b>	<b>-5.2%</b>

1. FY25Q1に、テクノロジー部門の人件費、データセンターおよび社内インフラに関わる費用の配賦基準を変更。これに伴い、FY24業績を遡及修正

2. FY25Q3に、組織再編に伴いサービスをセグメント間で移管。これに伴いFY24、FY25Q1、Q2の業績を遡及修正

項目	内訳
LINEヤフー	—
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「LINEブランドカタログ」、「LINE FRIENDS」、「LINEギフト」、「LINEショッピング <sup>1</sup> 」、「Yahoo!クイックマート <sup>2</sup> 」、海外EC（「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、その他)
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、BEENOS <sup>3</sup>
サービスEC事業	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「LINEトラベル (台湾)」、「LINE MAN <sup>4</sup> 」、その他
その他	その他
ZOZO、アスクル	—
ZOZO	「ZOZOTOWN」、「ZOZOUSED」、「Lyst <sup>3</sup> 」、その他
アスクル	アスクルBtoB事業（「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」、その他）、「LOHACO」、「チャーム」、その他

1. 2026年6月1日にサービス終了予定

2. 2025年8月31日にサービス終了

3. FY25Q1より「BEENOS」「Lyst」を含む

4. FY25Q2より、LINE MAN CORPORATION PTE. LTD.を連結

項目	主なサービス・商品
eコマース取扱高	—
国内物販系取扱高	—
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「ZOZOTOWN」、「LOHACO」、「チャーム」、「LINEブランドカタログ」、「LINEギフト」、「LINEショッピング <sup>1</sup> 」、「LINE FRIENDS」、「Yahoo!クイックマート <sup>2</sup> 」
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、「ZOZOUSED」、BEENOS <sup>3</sup>
アスクルBtoB事業 (インターネット経由)	「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」等
国内サービス系取扱高	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「出前館」
国内デジタル系取扱高 <sup>4</sup>	「ebookjapan」、「LINEマンガ」、「LINE MUSIC」、「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、 その他有料デジタルコンテンツ
海外EC取扱高	「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、「ZOZOFIT」、「Lyst <sup>3</sup> 」、「LINE FRIENDS」、 「LINEトラベル」、「LINE MAN」、「LINEスタンプ <sup>4</sup> 」、「LINE GAME <sup>4</sup> 」、「DOSI <sup>5</sup> 」

1. 2026年6月1日にサービス終了予定

2. 2025年8月31日にサービス終了

3. FY25Q1より「BEENOS」「Lyst」を含む

4. 当該サービスの収益は、メディア事業セグメントに計上

5. グローバルNFTプラットフォーム。当該サービスの収益は、戦略事業セグメントに計上。2025年12月30日にサービス終了